

短信欄

今号から開始することになりました。各ニュースサイトの見出し + アルファを拾っていきます。

皆さんからの情報提供もここに載せたいと思います。

1 . GlobalResearch の記事一覧（ほんの一部です）

<https://www.globalresearch.ca/>

- * トレンブレー「ノルド ストリーム爆破の背後にバイデン政権？」
- * M.スナイダー「中国のウクライナ和平計画：アメリカ・NATO・ウクライナは拒否」
- * J.ローリア「西側指導者たちは、ウクライナは戦争に勝てないとこっそり言う」
- * E.Zuesse「2014 年のウクライナ政権転覆は、紛れもなく米国製クーデタ一」
- * P.ケーニッヒ「ノルド ストリーム爆破：ドイツ首相と欧州委員会委員長の裏切り」
- * D.ボスニッチ「米国の外交は、偽善と二重基準の底なしの穴に」
- * U.アラウージョ「ドイツの議員はノルドストリームの爆発調査を要求」
- * A.アバヨミ「21 世紀の帝国主義に対する団結の構築—アフリカ系アメリカ人の歴史からの教訓」
- * B.アストア「ウクライナの魔法の武器： 第一次世界大戦の教訓」

2 . コンソーシャム・ニュースの記事一覧

<https://consortiumnews.com/>

- * S.リッター「ウクライナ：戦争後の軍備管理」
- * R.フリーマン「ウクライナ：光の果てのトンネル」
- * C.ヘッジズ「ロシアゲートはジャーナリズムの死を告げる」
- * J.ローリア「米国は侵略を待ち望んでいた：多くの証拠が出現」
- * M.ベンジャミンら「ウクライナ：経済戦争の勝者と敗者」

3 . 大村 哲さんからの情報提供

AALA の会員の皆様は、気候危機が現実の危機で、解決しなければならないと思っている方が大部分だと思います。国立環境研究所の江守正多上級主席研究員は、気候危機を広め宣伝する中心的な役割を果たしています。

同氏が「環境共生」という雑誌に書いた主張がネットに公開されていましたので、皆様に提供させていただきます。現代の気候危機を巡る論争がどうなっているか、温暖化対策推進側が、何に悩んでいるかも分かると思います。

江守正多氏は、温暖化対策を巡る思想と政策に、 グリーン・ニューディール、 グリーン成長、 脱成長、 の 3 つの思想潮流があるとしています。ご関心をお持ちの方はお読みください。

https://www.jstage.jst.go.jp/article/jahes/37/2/37_135/_pdf/-char/ja

大村 哲

みなさんの翻訳・投稿を期待します。